

令和4年11月28日

陳情第95号

令和5年度における「透析患者の通院への助成」についての陳情

令和5年度における「透析患者の通院への助成」についての陳情

【陳情趣旨】

透析患者は、透析のため週3回の通院を必要としますが、高齢化や合併症により自己移動が困難な透析患者が増えております。家族の送迎も大きな負担となっており、また、無償での送迎を実施している病院・透析施設も、自己移動困難者で特に車椅子利用となると、病院・透析施設では福祉車両が少なく、職員による送迎対応も困難となってきました。

週3回の透析通院には、タクシーや自家用車が欠かせず、最も割合が高い年齢層が70～74歳（2020年12月末・日本透析医学会調査）である透析患者は年金で暮らす者が多く、命をつなぐための透析通院に係る費用は家計を圧迫します。

小田原市におかれましては、週3回の透析通院に必要なタクシー代やガソリン代を助成していただきますよう、令和5年度予算策定をお願い申し上げます。

【陳情項目】

小田原市令和5年度予算策定に際し、透析患者の通院に係る費用に助成が受けられますよう、陳情申し上げます。

令和4年11月28日

小田原市議会議長

大川 裕 様

提出者

小田原市

小田原西湘腎友会

会長 岡林 俊雄 ㊞

横浜市

特定非営利活動法人

神奈川県腎友会

会長 府録 譲治 ㊞